

	ヨ シ ゴ イ Lxobrychus sinensis
種名	
分類	コウノトリ目 サギ科
特徴	飛ぶと翼に黄土色の模様が出る。アシ原に棲む小形のサギ類。ユーラシア大陸東南部の温帯から熱帯で繁殖する。日本には夏鳥として普通に渡来し、北海道から九州までの全国で繁殖する。西南日本では冬期の観察例があり、越冬するものらしい。
生活	池や沼、川岸、休耕田などでアシ、マコモ、ガマ類などの背の高い単子葉植物が茂った湿地に棲息する。アシの茎を足指でつかんで茎から茎へと巧みに伝い歩き、飛ぶ飛ぶ時には草の上すれすれに飛ぶ。じっと立ち止まり、待ち伏せして餌をねらい、尖ったくちばしで魚やカエルを捕らえる。外敵が近づくと、くちばしを上に向けて首を伸ばし、じっと動かなくなる。首の縦班がヨシの茎にまぎれて、姿を隠すのに役立っている。産卵期は5～8月。
声	繁殖期にはヨシ原や草むらの中で、昼間、時には夜中にも「ウーウーウー」と、うめくような声で鳴く。しかし、姿を見ることは困難なので、ヨシゴイかオオヨシゴイかの判断はなかなか難しい。
見分け方	とまっている時は全体に黄褐色に見える小形のサギ類で、よく似たオオヨシゴイは背中が栗色。
時期	(月) - - - - 5 6 7 8 9 10 - -
その他	全長(L)37cm 翼開長(W)53cm
参考文献：山溪カラー名鑑　日本の野鳥	